
METAL GEAR SOLID ~ BIGBOSSの軌跡 ~

John.Doe

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

METAL GEAR SOLID ～BIGBOSSの軌跡～

【Nコード】

N0077U

【作者名】

John・Doe

【あらすじ】

1964年、キューバ危機を経て、世界は再び核戦争の危機を迎えていた。「悪魔の兵器」制作者のソコロフから亡命の希望を受け、特殊部隊FOXの一人がソ連へと飛び降りた……

後の「メタルギアを巡る物語」はここから始まった。

後に伝説の英雄、BIGBOSSと呼ばれる一人の傭兵の物語。

ただ今は試験掲載です。本格掲載はいつになるか不明です。

第二次大戦後、世界は東西に二分された。
冷戦と呼ばれる時代の幕開けである――

1964年8月24日AM5:30パキスタン上空

一機のガンシップが飛行している。灰色の機体を持ち、高度三万フィートを飛行するそれに、ある特殊部隊が搭乗していた。

「間もなくソ連領空に近付きます」

ガンシップのパイロットが告げ、続けてアナウンスが流れる。

「降下20分前……機内減圧開始」

「装備チェック」

「アームメインパラシュート（自動開傘装置のアーミングピンを外せ）」

「よし、準備はいいか」

それまでのアナウンスとは違い、渋みを持った声に変わる。

「高気圧、依然として目標地域に停滞中」

すかさずアナウンスの時の声に変わり、気象状況を告げる。

「雲底高度、視程無現！」

「いいぞ、視界は良好だ」

ガンシップの後部ハッチ。そこに、一人の男が腰かけている。葉

巻に火をつけ、後ろには大きなバッグその他を背負っている。ブラウンの長くも短くもない髪と、青い透き通った目、そしてゆったりとした動作は、この軍用ガンシップに一見ミスマッチしており、その実とても似合っている。

「葉巻を消せ」

その男の対面に立っていたヘルメットの男が、彼に注意する。この後に減圧する機内では、煙草や葉巻はたいへん危険であるからだ。『酸素ホースを気体のコネクタに接続……』

再びアナウンスが流れる。

『マスク装着せよ』

しかし、彼が動じる気配は無く未だに葉巻を吸っている。

「……あの男素人か？」

彼に背を向け、男は小さな声で呟く。

『リリースポイント 降下地点に接近中…… 降下10分前』

『おいっ！ 聞こえたか？』

再び渋い声の方の男が彼に注意を促す。未だに葉巻を吸っているためだ。

『葉巻を消してマスクを装着しろ』

その声に左右に小さく首を振り、彼は左に向かい葉巻を投げ捨てる。その方向は後に開く後部ハッチだ。数秒の滞空を終え、金属製の機体の上に落ちる。

その後マスクを落ち着いた様子で装着し、同時に橙色のランプが点灯する。

『機内の減圧完了。酸素供給状態確認』

『降下6分前！ 後部ハッチ開きます！』

彼は少しでも首を左に向ける。と、直後にゆっくりと後部ハッチが開放される。眩い光が入りこみ、同時に強い風が吹き込んでくる。

『日の出です……』

そのアナウンスと共に後部ハッチが完全に開ききる。

『外気温度、摂氏マイナス46度』

『降下2分前……起立せよ』
スタンダアップ

ゆつくりと彼は立ち上がり、後部ハッチを再び見やる。

『時速130マイルで降下する。風速冷却での凍傷に注意しろ』

再び渋い声の方の男が彼に注意をする。

『降下1分前……後部に移動せよ』

その声にゆつくり後部ハッチに移動し始める。

『ベイルアウトボトル
酸素装置作動』

『これが記録に残る世界初のHALO降下になる……』

しみじみと呟く渋い声の方の男。HALO降下……高高度から降下を開始し、超低高度で開傘する技術であり、レーダーなどで捉えにくいのが特徴である。

転がってきた葉巻を靴裏で強制的に消火し、そのままゆつくりと前進する。

『降下10秒前……スタンバイ』

後部ハッチの淵一步手前にスタンバイする彼。

『全て正常、オールグリーン！』

橙色のランプ二つが、緑色のランプに変わる。あとは飛び立つのみ――

『降下準備……カウント……5 4 3』

淵ギリギリに立つ。

『2 1――』

『鳥になってこい！ 幸運を祈る！』

体を前に傾け、彼が――後に「英雄」と呼ばれる男が今飛び立った。

前方向へいくらか回転し、その勢いは少しずつ速くなっていく。やがて膝を抱えうずくまるような体制になる。五回程の回転を経てヘッドダウンの体勢となる。

空気抵抗が大きく減った事で急加速し、ガンシップのいる高度から彼を目視する事は、もはや不可能となった。

（後書き）

まだ本格掲載ではなく、いつ開始するかは「近いうち」としか言えません。しかし、なるべく早くにしようと思っているので、もしよろしければユーザーページに定期的にでもお目をお通し頂けると嬉しいです。

本格掲載の際に参考にしたいと存じますので、感想、アドバイス、批判諸々お待ちしております

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0077u/>

METAL GEAR SOLID ～BIGBOSSの軌跡～

2011年10月8日23時04分発行